

心理学部 父母会会報



D O S H I S H A
U N I V E R S I T Y
Faculty of Psychology

No. 03

December.2010



For God, for Doshisha and Brotherhood
135th Anniversary
1875-2010

同志社は隆なるニ従ひ機械的ニ流るゝの恐れあり切に
之を戒慎す可き事

〔新島襄全集4〕403頁





■ ご挨拶.....	4
■ 父母会ニュース.....	5
■ 学部イベント	6
■ 学生レポート1 「スポーツ懇親会・外国人留学生懇親会」.....	9
■ 学生レポート2 「ゼミ探訪」.....	10
■ 学部生の活躍 「ファーストイヤーセミナー ポスター製作発表会」....	11
■ わたしの学生生活・在学生PHOTOアルバム	12
■ ご父母より.....	14
■ 教員メッセージ.....	15
■ 新島襄クイズ.....	16
■ 学生生活Q&A.....	17
■ 大学インフォメーション	18

心理学部父母会が発足し1年が過ぎました。ご父母の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は、本会推進のため、ご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、子ども達は学生生活にも慣れ、日々成長していることと思います。私は、子どもと親との関わりについて考えることがあります。子どもを信頼してあげることはもちろんのこと、社会に出て行くためには、親から離れていくことも必要ですが、自分をなくしてしまわないよう見守ることが大切ではないでしょうか。まだまだ、私も子どもともっともっと話し合っって関わっていきたいと思います。今後、父母会でも、皆様が今必要とされていること、また悩んでおられることを話し合っっていきたいです。ご意見ご希望がございましたら父母会までご連絡ください。今後とも、ご支援、ご協力よろしくお願ひいたします。

最後になりましたが、日々子ども達のことを優しく見守っていただいている教職員の方々に心より感謝申し上げます。

父母会会長 永野 三和子



ご挨拶



秋の気配が深まり、学生には学びに最適の季節となりました。ゆっくりと自らを振り返る時間をもつことができるのではないかと思います。

青年期である大学時代は将来の方向を見据え自ら研鑽する時期です。そもそも、青年期は社会との関係で出現したといわれます。18世紀以降、工業化が進む近代化社会において、社会で求められる技能が高度化し、教育も近代化が進みました。そのため、社会人への準備期間である青年期が誕生したわけです。

多様化した社会で将来の方向性に選択肢が増えるほど、悩みも多くなります。ただ、ある青年期の研究者は、自ら迷いを経験しながら、社会で打ち込むものを見つけることをアイデンティティ達成として、青年期に成し遂げるべき課題と位置づけています。

私たち、心理学部スタッフは、ご父母の皆様と連携し、学生の皆さんが悩みながら成長するのを、サポートしていきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

心理学部長 内山 伊知郎

■ 父母会ニュース

2010年度同志社キャンパスフェスタ

昨年に引き続き、同志社キャンパスフェスタが全国7会場(東京・金沢・松山・福岡・松江・盛岡・福島)にて開催され、多くの校友・在学生父母・高校生の方たちにご来場いただきました。心理学部父母会では地方懇談会を同時開催し、地方在住の在学生父母にご参加いただき、成績・授業の様子・学校生活など遠く離れて暮らすお子様の日ごろ気になる事を教員と直接対談していただきました。来年も開催予定(場所未定)です。ぜひともご参加ください。



京都地区地方懇談会

10月30日(土)、京田辺キャンパス夢告館にて京都地区地方懇談会を行ない、役員・父母総勢32名にご参加いただきました。全体懇談会では、内山学部長・役員ご挨拶に始まり、教員による授業の様子や心理臨床センター設立などの学部近況報告、参加者同士の歓談など実施しました。当日は、キャンパス内で同志社京田辺祭(クローバー祭)が開催されており、たいへんな賑わいで、心理学部生が担当する心理学体験コーナーでは、ご父母の方もたいへん興味深く見学されていました。



■ 学部イベント



同志社大学 心理学部 開設記念シンポジウム 2010

感情を表す、感情を読み取る

人と人とを結ぶ心理学

人は人との関わりの中で生きています。人間関係が希薄になったといわれる現代社会で、「感情の表現」や「コミュニケーション」は人との結びつきにどのような役割を果たしているのかを、第1部では脳生理学者・久保田競氏による基調講演、第2部では異なる分野のパネリスト6名らがパネルディスカッションにて意見交換をしました。

無料 定員700人 申し込み不要

9月23日(木・祝) 9:30開演

同志社大学 今出川キャンパス 明徳堂21号教室

問い合わせ 朝日新聞社広告局 TEL06-6201-8309(平日10時~18時)



心理学部シンポジウム2010[9月23日(祝・木)]

「感情を表す、感情を読み取る—人と人とを結ぶ心理学」というテーマで心理学部開設記念シンポジウムを実施しました。人間関係が希薄になったといわれる現代社会で、「感情の表現」や「コミュニケーション」は人との結びつきにどのような役割を果たしているのかを、第1部では脳生理学者・久保田競氏による基調講演、第2部では異なる分野のパネリスト6名らがパネルディスカッションにて意見交換をしました。

当日は約700名の来場者が訪れ、大盛況となりました。この模様は、10月30日付朝日新聞朝刊(大阪版)に掲載しています。



赤ちゃんフォーラム[7月24日(土)]

けいはんなプラザにて「赤ちゃんにやさしい都市づくりフォーラム」(京都府・同志社大学赤ちゃん学研究センター等主催)が開かれました。親子連れら約1000名が参加し、子育ての講演や歌のコンサートなどを楽しんでいました。心理学部のパネル展示には、山田啓二京都府知事が視察に訪れ、学生が立派に対応していました。



オープンキャンパス [7月25日(日)・8月1日(日)]

今出川・京田辺両キャンパスにおいて、オープンキャンパスが開催されました。教員による模擬講義・就職説明会など多くの催しがあり、たくさんの受験生が訪れました。

心理学部では、学生による安全で楽しい心理学実験を実施し、心理学のおもしろさをアピールしました。



大学院入試説明会 [7月3日(土)・11月20日(土)]

大学院(心理学研究科)入試説明会が行なわれました。外部の方たちに混じり、早くも将来を見据えて、心理学部2年次生の参加もチラホラ見受けられました。





卒業生と在学生の懇話会 [6月19日(土)]

京田辺キャンパスで「卒業生と在学生の懇話会」(心理学会・心理学同窓会共催)が開催されました。30名以上の学生が集まり、社会で活躍している卒業生の話に、熱心に耳を傾けていました。

心理学部の学生が興味を持ちやすい、児童相談所で働く方をはじめ、電鉄会社の運転士、システム会社のSEといった、一般企業で働く方のお話もあり、真剣にメモを取る様子もうかがえました。

心理職に限らず様々な分野で活躍する卒業生の姿を見て、将来を考えるのにとってもいい機会になったのではないのでしょうか。

ボウリング大会 [7月11日(日)]



竹原先生率いるチームが優勝 !!

ソフトボール大会 [10月24日(日)]



昨年に引き続き、青山先生率いるチームが優勝 !!



心理学部では、例年日曜日にスポーツ施設を貸し切って、夏はボウリング、秋はソフトボールの大会を行ないます。1～4年次生の在学生はもちろん、大学院生、そして教職員までが参加し、縦割り4チームでプレーに励みます。

両大会は、午後からスポーツ、夕方から懇親会という2部構成で、いずれも学年を越えた交流が盛んに行なわれ、親睦を深めていました。

このような行事を通して一体となっている姿は、アットホームな心理学部の雰囲気を表しているように思えます。

スポーツ推薦選抜入試・外国人留学生入試で入学した学生たちを集めて、教職員と懇親会を開きました。部活動の活躍や日常生活での出来事や困り事など各自発表してもらい、楽しく賑やかなひと時を過ごしました。



■ スポーツ懇親会



部活動と学生生活について

心理学部心理学科1年次生
吉岡 毬奈さん

私は体育会陸上競技部に所属し、走高跳を専門種目としてやらせていただいています。大学は高校の試合と違いインターハイだけでなく、春と秋の両シーズンに試合があるため授業に出席できない日が多々あります。しかし、同志社大学は公欠届がなく、ほとんど考慮されないので続けて試合に出場して欠席をしてしまうと取り返すことがなかなか大変です。ただ、それは自分が陸上競技をしているということの責任であると考えようになりました。スポーツで入学してきたからといって特別扱いされ

てしまうと、どこかで甘えが生じてしまいますが、みんなと同じ様に扱われるからこそ、勉強に対する取り組みが怠らないのだと思いました。

部活動との両立は1年次生でまだまだ大変なことはありますが、これからの学生生活も文武両道の精神で、スポーツと共に勉学も励みたいと考えています。そして部活動では自分で目標を立て、それに向かって一步一步努力していきたいです。

■ 外国人留学生懇親会



わたしの留学生生活について

心理学部心理学科1年次生
李 迪さん

私は日本に来て、一年ぐらいいが経ちました。同志社大学の心理学部における生活も半年が過ぎました。心理学部に入学後、自分の興味がある授業をとり、忙しい毎日となっています。特に何か質問や困難があった時、先生たちが親切に指導してくれますし、同級生もよく手伝ってくれます。しかし、ずっと引きこもりの勉強状態ではなく、私は積極的に合宿やボウリング大会など学部の課外活動にも参加し、そこでよく皆と勉強以外の話もします。また、私は校外の交流活動にもよく行くので、年齢・国籍・職業に關

わらずいろいろな友たちができました。

私にとって、両親から離れた留学生生活は初めてです。料理でもバイトでも、今ではあらゆることを自分でするわけです。偶に疲れたり、寂しい感じがしたりすることもあります。自身の独立心がしっかり鍛えられ、家族との繋がりがより強くなりました。留学生生活の経験は人生の大切な一環として、思いやりあり知識ありの同志社大学の学生を目指して、これからもこの調子で続けたいと思います。



ゼミ探訪

佐藤 豪ゼミ

ゼミとは？ クラスの分け方は？ 研究テーマの決め方は？…
 毎号、2年次生にゼミ訪問をしてもらい、素朴な疑問を解決していただきます。



佐藤研究室を訪問して

心理学部心理学科2年次生
 木村 けいさん

わたし達は今回、佐藤先生のプレゼミを見学し、その後ゼミについて先生に教えていただきました。ゼミについてはあまり情報が無かったので、非常に良い機会となりました。
 ゼミは昔は4年次生から始まっていたのが、プレゼミというかたちで3年次生の秋から変わったそうです。プレゼミとは、4年次生になって卒業論文の作成に早めに着手できるよう、準備するためのものです。先生によって内容は様々ですが、佐藤先生の所では、学生が自分で日本語の論文を読ん

で発表するというをしています。まずは、論文をたくさん読み、自分のしてみたい研究を模索すると同時に論文の構造を理解することが重要だと教わりました。また、学生同士で内容について討論することで、互いに刺激になり、良いトレーニングになるのだと分かりました。
 見学しお話を聞いて、今現在、授業で習っていることが3・4年次生になって生かされてくるのだと痛感しました。今のうちから意識して勉強に励むべきだと思います。



研究とは

心理学部心理学科2年次生
 桐山 佳奈さん

今回、私は佐藤豪先生のゼミにお邪魔させていただきました。佐藤先生のゼミでは、各ゼミ生が興味を持ったテーマの論文について、発表やディスカッションを交えて、研究の意義や課題・問題点について捉えることを目的として行なっているそうです。ちなみに、より正確に内容を捉えられるように、ゼミでは日本語で書かれた論文を扱っているとのことでした。その場で私もいくつか論文を拝見し、発表を聞かせていただきました。しかし、いくら日本語で書かれているといっても、やはりデータは複雑で、分析するのはとても大変そうでした。

先生に何ったところ、あらゆる角度から何度も読むことで、論文に出てくる用語の理解から、研究のもつ展望性を見出すことができるようになるそうです。
 私もこれまで、論文を読む機会や実験を行うことが何度かありました。その都度、実践する難しさを感じていましたが、今回ゼミを訪問させていただいたことで、将来を見据えた勉強をしていきたいと改めて思いました。貴重な機会をありがとうございました。



Teacher's Voice

心理学部心理学科
 佐藤 豪 教授

研究論文を読むということ

卒業論文などの研究を始めるためには、まず今までどのような研究がされてきたかを知るために、研究論文を読まなければなりません。論文を読む時には、「なるほど。」と感心して読むだけでなく、「何か別の考え方はないか。」と読んでみることも必要です。教えてもらうことを鵜呑みにする学習ではなく、自分自身でそれを検証し、新しいアイデアを考える姿勢を作ることが研究論文を読むことのなかにあります。

■ ファーストイヤーセミナー ポスター製作発表会

毎年、1年次生の必修科目「ファーストイヤーセミナー」では、グループ毎に題材を決め、調査し、ポスターにまとめて発表する課題があります。今年の優勝したチームをご紹介します。

テーマ

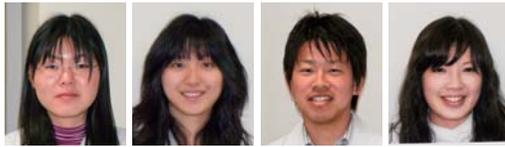
The PEACE of JAPAN ～日本の治安の現状～



【要旨】

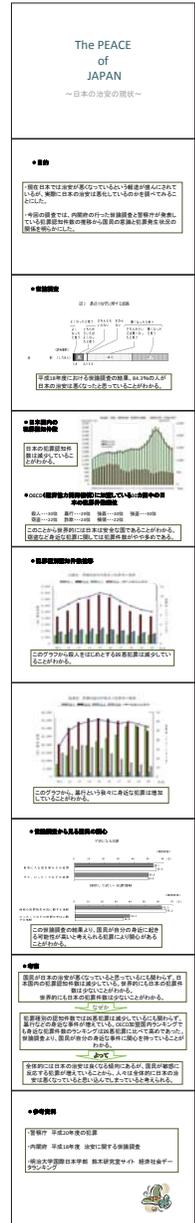
今回私たちは、本当に日本の治安は悪化しているのかを調べるために、国民の意識と犯罪発生状況の関係を明らかにしました。調べていくと多くの人が日本の治安は悪くなったと思っているにも関わらず、犯罪認知件数は減少していることが判明しました。さらに調べを進めると、凶悪犯罪は減少している一方で、暴行という我々に身近な犯罪は増加していることがわかりました。また世論調査より、国民が自分の身近に起きる可能性が高い犯罪により関心があるというデータが得られました。これらのことから、全体的には日本の治安は良くなる傾向にあるものの、国民が敏感に反応する身近な犯罪が増えているため、人々は全体的に日本の治安は悪くなっていると思い込んでしまっているのではないかという結論を導くことができました。

ポスター製作活動を終えて



心理学部心理学科1年次生
中西 千夏さん、西山 恭世さん
瀬戸 陽介さん、築瀬 美咲さん

私たちの班は何について調べるかが決まらず、テーマ設定に一番苦労しました。犯罪に関連することという漠然としたテーマはあったので、実際にどんなデータを集めて、どんな結論を導くのかは、昼休みに何度も集まって議論を重ねました。はじめは、三木木の治安について調べようとしたものの、中間発表で十分な量と質のデータが得られていないことを実感したため、より広い範囲で、それでいて私たちが親しみやすいテーマはないかということで、今回のテーマに辿り着きました。テーマ決定後は役割を分担して、できるだけ多くのデータを集めました。各々がデータを集めることにより、様々な角度からデータを集めることができ、考察をする際に役立ちました。また、データを集める際には、内閣府の世論調査や警察庁の統計など、できるだけ信頼性の高いデータを集めることを心がけました。そのため、一つ一つのデータを検証していくうちに、自然と今回の結論が導き出されました。今回の実習では、考察の際に利用するかどうかに関わらず、信頼できるデータを多様な視点から集めていくことの重要性を実感しました。



Teacher's Voice

心理学部心理学科
畑 敏道 准教授

【クラス担当より】

ポスター制作課題では身近なことから取り上げて、データに基づいて論じていく訓練をしました。この発表では、論理展開に合わせて適切なデータが使われ（特に7枚目のスライドがポイント）、高い評価を得ました。

わたしの学生生活



心理学とともに

穂田 康平さん [心理学部心理学科1年次生]

今、教室の窓の外からは金木犀の香りがします。理工学部にも所属しながら塾の講師をして、多様な問題を抱える子供達に接するうちに、その責任の重さとやり甲斐を感じ、飛び込んだ心理学の世界。桜咲くなか、並んだ同級生との四つの年齢差に不安を感じていた入学式から、冷房の音を聞き流し半年の時間が経ちました。外の空気が心地良い季節が戻り、私は沢山の仲間達と共に支え合いながら学生生活を送っています。

「人の心」に興味を持ち、人々の役に立とうと心

理学部に来た仲間達は、優しい性格の持ち主ばかりでした。彼等と添削後のレポートを見せ合い討論をすると、そこから得られるものはとても多く、心理学は工学と違って、ひとりで勉強するのでは通用しないと知りました。

窓を開けるのが辛い季節がやってきます。広く深い人の心の学門、いまだ私は学び方を少し見つけた程度でしかありませんが、次に桜色の窓を開ける頃には、成長した姿を見せられるよう、仲間達と共に前進していきたいと思っています。



大学生活をはじめて

伊藤 ななせさん [心理学部心理学科1年次生]

入学してから瞬く間に半年が過ぎましたが、この半年を一言で表すなら「楽しい」という言葉しか出てきません。入学当初の不安はどこかへ消え、毎日充実した日々を送っています。授業では、レポートに頭を悩ませたり、実験で苦手なラットに苦戦したりはしましたが、自分の学びたいものを思う存分学ぶことができ、新しい知識を得られる度に喜びを感じています。入学と同時に始めた一人暮らしでは、家族のありがたさを痛切に実感しました。でも、友達と夕飯を食べたり、泊まりに来て夜

遅くまで遊んだり…一人暮らしならではの楽しさも十分に満喫しています。この楽しい生活には友達存在は欠かせません。特に心理学部は仲が良く居心地も良くて、皆が揃う心理学概論や実験の時間は毎回楽しみです。

まだ半年しか経っていませんが、こんなにも大学生活を楽しんでいるようになることは、思ってもいませんでした。これからの日々にも、期待は高まる一方です。

在学生PHOTOアルバム ～学生生活の一コマより～





大切な時間

甲斐 愛佳さん [心理学部心理学科2年次生]

入学当初のことは今でも鮮明に覚えています。広すぎるキャンパス、多すぎる学生、そして複雑な大学のシステム。思い描いていた華やかな大学生活とは裏腹に、現実には疲労や不安との闘いでした。ここでは何をすることも自由で、時間の使い方も人それぞれです。好きなことだけをして過ごすこともできますが、私はこの四年間で何か一つ真剣に頑張ってみたいと考え、部活動に打ち込んできました。

もちろん、それは楽しいことばかりではありません。幾度となく壁にぶつかり、その度に迷いや葛

藤を繰り返してきましたが、それ以上に得たものもたくさんあります。今では部活に勉強、習い事、バイト、そしていつも大きな支えとなってくれる友人との時間も大切に、充実した毎日を送っています。

そんな私も、もうすぐ成人式を迎えようとしています。長いと思っていた大学生活も気付けば残り半分ほどになりました。社会人になったとき、大学生だった自分を誇れるように、今後も実りのある日々を過ごしていきたいです。



自由な空間で

春日 孝之さん [心理学部心理学科2年次生]

大学という異質空間、そして、大学生というポジションの特殊性を入学から一年半経過した今、改めて実感し、置かれているこの環境に感謝しています。大学に踏み込む以前、僕は自らの進む方向についてきちんと考えたことはなかったと思います。極端に言えば、考える必要がなかった気がします。眼下には常に絶対的な矢印が存在したからです。その指示にときに反発しながらではありましたが、大きく逸れることなく、ここまで歩んできたように思います。

しかし、大学では学生でありながら、何かを強制

されることはほとんどなく、勉強面だけでなく、サークル、バイト、友人関係…すべて自分次第です。俗にいう自由な校風とはほど遠い高校生活をおくっていたこともあり、入学当初はあまりの環境の変化に戸惑ってばかりでしたが、ようやく、この奇妙な毎日が僕の人生にとって、とても大切な意味を持っていることに気が付き始めました。

まだ、何色にも染まることのできる弱冠二十歳。同志社大学心理学部、この恵まれた素晴らしい環境の中で、迷いながら、躓きながら、一步一步進んでいこうと思います。

※心理学部ホームページにも多数の写真を掲載しています。(裏表紙参照)





大好きなお姉ちゃん

西村 こうめ（裕美）

（心理学部心理学科1年次生 西村 美咲）

私は、西村家の末っ子「こうめ」です。

私の大好きな美咲お姉ちゃんは、春から大学生になり、毎日おしゃれして通学しているわ。大学ってすごく楽しそう。

美咲お姉ちゃんの学んでいる心理学ってどんな事を勉強をしているのか、この前話してもらったらラットのお世話とかもあるんだって。名前もつけて、交代でエサやりもして。

サークルにアルバイトに、毎日が充実しているみたい。

お母さんが話してくれるんだけど、美咲には大学生活でいろんな事をたくさん経験してほしいよねって。

大学は、どんな事も自らアクションを起こしていかないと何も始まらないから、どんどん自分から動いて、多くの人と交流を持ってほしいんだって。そして、自分も周囲の人も成長していけるような学生生活をおくって、素敵なお姉ちゃんになってね。ワン！

愛犬(母)より



驚かされて

松浦 逸子

（心理学部心理学科2年次生 松浦 千尋）

『私、頑張るから』と2年前に新たに大学生活を始めた貴方。

中学・高校と部活や勉強にいつも全力投入だった貴方が高3の時、たった8人のハンドボール部員でインターハイ出場を果たしたのも、その頑張りの賜物でしたね。誰もが予想していなかっただけに周囲は驚かされました。

そんな貴方がまたまた『頑張る』と……。時折の電話では日々の暮らしに奮闘している姿が目に見えます。

でも、今までたくさんの人に支えられてきた貴方なら、どんな頑張りの人との繋がりがなしでは実らないことを知っていますよね。

この4年間で出会った人達が、これからの人生の大切な宝物であり財産となります。持ち前の頑張りと最後まで諦めない気持ちで、もっともっとたくさんのことを吸収して大きくなって、あの時のようにまた驚かせてください。

楽しみに待っています。

母より



プロジェクト演習科目について

心理学部心理学科 竹原 卓真 准教授

心理学部の2年次には、プロジェクト演習という必修科目があります。従来の講義科目は、教員から学生へ情報が一方的に教授されるだけでした。しかし、プロジェクト演習は教員がテーマに関するルールを敷くものの、そのルールの上をどのように走り、どこへ向かうのかといった具体的な内容は全て学生のアイデアや実行力によるところが大きい科目です。それゆえ、問題点を発見し、その問題についてどのように対処するのかといった、講義科目では得られないスキルが身につ

くとわれわれは考えています。実際に、プロジェクト演習の一環として、7月のオープンキャンパスで一般の来場者を相手に、心理学体験コーナーを企画・実施いたしました。そこには、想定外の質問に冷静に対応したり、心理学をやさしく解説したりする学生の姿がありました。この企画の反響は大きく、多くの方から素晴らしい評価をいただきました。次年度以降もプロジェクト演習にどうぞ期待下さい。



心理臨床センター設立について

心理学部心理学科 興津 真理子 准教授

2010年11月1日に今出川キャンパス継志館（京都市上京区新町今出川下ル）に心理臨床センターがプレオープンいたしました。このセンターは学内ではなく一般の方向けの相談施設で、臨床心理士資格を有する教員、専任相談員がさまざまな心理的問題への援助を行ないます。このようなセンターを立ち上げたのは、同志社大学大学院心理学研究科では2011年4月から臨床心理学コースを開くことになっており、そこで学ぶ大学院生の実習施設としての機能も果たすことになっているためです。臨床心理学コースの大学院生は、

有資格者の教員、相談員の指導を受けながら、実際にケース（事例）を担当し、研鑽を積むこととなります。

同志社心理では永らく基礎と応用（研究と実践と言ってもよいと思います）を繋ぐことを信条としてきましたが、臨床心理学の分野で今までよりも充実した形で、それができるようになります。研究能力も豊かに備えた心理臨床家を育成すべく、ますます研究、教育を充実させていく所存ですので、ご支援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



「赤ちゃんの人見知り」研究について

心理学部心理学科 加藤 正晴 准教授

私の担当は「赤ちゃんの人見知りを知ろう！」というものです。生まれてすぐの赤ちゃんは誰にでも微笑みかけますが、生後6ヵ月を過ぎる頃から、他者に対して拒否反応を示すようになります。この人見知りはきつい赤ちゃん、そうでない赤ちゃん様々です。どうしてこのような差が出てくるのか、よりよい養育者と乳児の関係を築くにはどうしたらよいかを考えてもらおうという狙いをもってプロジェクト演習の授業を行ないました。

授業に参加した学生達は0歳児を見たこ

とも触れたこともない人がほとんどでしたので、赤ちゃんに対する具体的なイメージを持ってもらうため市町村や医師の助けをかりながら、見て触って、抱いてという経験をしてもらいました。そのおかげか、人見知りに関するアンケート調査を行う際も、自分たちでずいぶん議論をし、配布や回収などにも意欲を持って関わる姿は見ていて頼もしく感じました。自ら動いて得られた知識は教えられる知識とは違うことを身をもって実感してくれたのではないのでしょうか。

新島襄クイズ

新島くんが出題するクイズに挑戦!!

新島襄検定問題集より抜粋

【正解数】

- 全 問…立派な同志社人!
- 4～5 問…もう少しで同志社人!
- 2～3 問…気持ちは同志社人!
- 0～1 問…がんばれば同志社人!

全問正解できるかな?



Q1

新島襄は少年時代、ある安中藩家老に絶大な信頼を寄せていました。さて、その家老とは?

- ①田島順輔 ②添川廉斎^{れんさい} ③尾崎直記^{なおのり}

尾崎家は母・登美が娘時代に幸ひした家であり、新島家とは家族ぐるみの付き合いがありました。

③尾崎直記

Q2

新島襄は子どもの頃、母親にある反抗をしたために祖父からきつい「お仕置き」を受けました。さて、その反抗とは?

- ①買い食い ②口ごたえ ③暴力

幼少時代は外で駆け回るのが大好きで、時には遊びに熱中するあまり、朝に口ごたえをすることもありました。

②口ごたえ

Q3

新島襄は漢学から蘭学、英学へと勉強を進めました。さて、彼に英語を指導したアメリカ帰りの人物は?

- ①中浜万次郎(ジョン万次郎) ②勝海舟
③福沢諭吉

新島は中浜万次郎(ジョン万次郎)が教授として在籍していた幕府の軍艦操練所に入所していました。

①中浜万次郎

Q4

アーモスト大学で北寮に入った新島襄は、2年目の室友から「～のように静か」と言われました。さて、例えられたのは何?

- ①^{なぎ}風 ②林 ③ハツカネズミ

「徹底したノリチヤンで完全な紳士」とも評されています。

③ハツカネズミ

Q5

私学出身者として初の日本銀行総裁になった群馬県出身の同志社卒業生がいます。さて、この人物とは?

- ①小野英二郎 ②深井英五 ③市原盛宏

②深井英五

Q6

新島襄の食生活は洋食主体でコーヒーやワッフルなども好きでしたが、和食の大好物もありました。さて、それは何?

- ①^{そば}蕎麦 ②てんぷら ③寿司

唯一蕎麦には目がな、9杯を平らげた記録が残っています。

①蕎麦

CAMPUS Q&A

学生生活における心理学部へのよくある質問にお答えします。

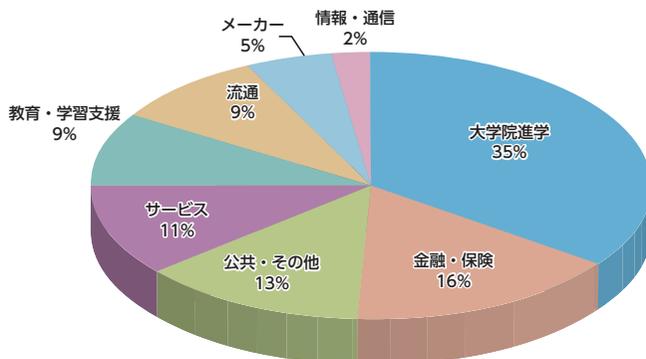
Q1 卒業生はどういったところに就職していますか？

A

文学部心理学科の卒業生実績から見ると、メーカー、金融、商社、サービス、情報・通信、公務員など幅広い業種への就職、大学院や海外の大学への進学などが考えられます。

また、心理学部では3つの履修コースに基づく教育を実施することにより、神経・行動心理学コースからは製薬会社、医療関係会社などへ、臨床・社会心理学コースからは、病院、教育・臨床分野、マスコミ、企業のリサーチ部門などへ、発達・教育心理学コースでは、児童相談所、家庭裁判所、教育産業などへの就職も進路として想定されます。

2009年度 卒業生の進路 (文学部心理学科)



Q2 心理学部で取得できる免許・資格は何ですか？

A

心理学部で取得できる免許・資格としては、小学校教諭1種※1、中学校教諭1種(社会)、高等学校教諭1種(公民)、図書館司書、学校図書館司書教諭、博物館学芸員、認定心理士(社団法人日本心理学会認定資格)などがあります。(※1 神戸親和女子大学通信教育部(男女共学)との提携による)

Q3 臨床心理士の資格について教えてください。(今現在の状況)

A

臨床心理士は、日本臨床心理士資格認定協会が認定している民間資格です。臨床心理学を学問的基盤に、心の問題の援助・解決・研究に貢献する専門家で、スクールカウンセラーなどの資格要件になっております。受験資格には、指定された大学院を修了することが求められており、同志社大学は現在指定校ではありませんが、2011年度中に指定大学院となるための申請を予定しています。

■ イベント情報

Neesima Room第38回企画展

●「幕末と同志社―薩摩藩邸にあって―」

【期 間】2010年10月1日(金)
～ 2011年1月31日(月)

【時 間】10:00～17:00
(土・日曜日は16:00まで)

【閉室日】祝日、12月23日～2011年1月5日

【会 場】今出川キャンパス ハリス理化学館2階
Neesima Room

【特別資料展示】2010年11月26日(金)～12月22日(水)
※期間中は土・日曜日閉室

【入場料】無 料



●公開講演会

「島津家と近衛家―京都から薩摩への文化伝承―」

【日 時】2010年12月11日(土)14:00～15:30

【会 場】今出川キャンパス クラーク記念館2階
クラーク・チャペル

【講 師】田村省三氏 尚古集成館館長

【お問い合わせ】同志社社史資料センター
TEL:075-251-3042

同志社講座 in Tokyo

同志社大学では東京オフィスにて「同志社講座 in Tokyo」を開講しております。

本学の教育研究活動の成果を公開するとともに、一般の皆様にも広く学習の機会を提供し、社会人の教養を深めたいという学ぶ意欲にお応えするものです。プログラムは春学期(4月開講)、秋学期(10月開講)の半期単位です。2010年秋学期の受講募集を開始いたしましたので、下記にご案内いたします。

- 【No.01】 2011春季 楽洛キャンパス 先行公開
「再創造される戦国武将像 ～なぜあの武将たちは21世紀まで語り継がれるのか?～」
- 【No.02】 新島 襄と同志社シリーズ
「新島 襄のこぼれ II」(全5回)
- 【No.03】 新島 襄と同志社シリーズ「本井教授と読む 新島 襄の文庫本～教育論～」(全5回)
- 【No.04】 最新企業法務の実際 担当者のための実践講座
企業の視点から考察する「知的財産制度」と「新しい消費者政策」(全5回)
- 【No.05】 最新企業法務の実際 担当者のための実践講座
「株主総会に関する法律上の諸問題」(全5回)
- 【No.06】 大久保 隆先生と学ぶ 金融の見方・考え方(全5回)
「円の行方・金利の行方・デフレの行方」
- 【No.07】 浜 矩子先生と学ぶ
「グローバル経済の読み方」(全5回)

開催日時など詳細は、下記URLにてご確認ください。

<http://www.doshisha.ac.jp/lifelong/kokai/tokyo/index.php>

【会場・お問合せ先】

同志社大学 東京オフィス
〒100-0004 千代田区大手町2丁目6-2
日本ビルヂング5階566区
電話:03-3516-7577 (土・日・祝除く9:00～16:00)

同志社のクリスマス

●クリスマスイルミネーションアドベントを前に各地でクリスマスイルミネーションが灯り始めるころ、同志社大学でも点灯式を催しています。

今出川キャンパスのツリーは、西門を入ってすぐのところにあるヒマラヤスギの巨木で、高さ23mは国内2番目を誇ります。また近年では、マスコミなどでも取り上げられ、京都の冬の風物詩となっています。

京田辺キャンパスのツリーは、かつては知真館1号館前のヒマラヤスギを用いていましたが、2009年からは正門を入ってすぐのローム記念館前に植えられたモミノキがその役を担っています。高さ15mのこのツリーは学外からも望むことができ、将来は京田辺の新たなシンボルとなることが期待されています。



今出川キャンパス

【点灯式】2010年11月19日(金)17:15～

【点灯日時】2010年11月19日(金)～12月25日(土)
16:30～22:30 (初日の開始時刻を除く)

京田辺キャンパス

【点灯式】2010年12月1日(水)16:45～

【点灯日時】2010年12月1日(水)～12月25日(土)
16:30～22:00 (初日の開始時刻を除く)

●第21回 同志社京田辺クリスマス燭火讃美礼拝

同志社京田辺クリスマス燭火讃美礼拝は、2010年で第21回を迎え、地域の方々も同志社とが、ともに作り上げる大切な行事として揺るぎないものとなっています。キリストの希望を象徴するキャンドルライトの光のもとに、今年もまた、ともにクリスマスの礼拝をささげましょう。

【日 時】2010年12月11日(土)
開場16:00 開演16:30 (18:00終了予定)
16:10からゴスペル合唱があります。
どうぞお楽しみください。

【会 場】同志社新島記念講堂
(同志社大学正門前 同志社女子大学構内)

【内 容】

説教:同志社大学神学部教授
キリスト教文化センター
所長 原 誠
司式:同志社大学神学研究科生
今井 このみ

奏楽:オルガニスト 加藤 真子

合唱:京田辺市民合唱団
田辺少年少女合唱団コスモス
同志社学生聖歌隊
同志社女子大学聖歌隊

演奏:同志社大学ハンドベル・クワイア

ゴスペル合唱:指揮 山内直美
神学部ゴスペルクラス
キリスト教文化センター
オープン・プログラム・ゴスペルクラス

聖書物語劇:同志社教職員・学生有志

演出:キリスト教文化センター
越川 弘英
三木 メイ

※当日は手話通訳があります

【入場料】無料 ※ご来場の方には、オリジナル・クリスマスカードをさしあげます。

【お問合わせ先】同志社大学キリスト教文化センター
TEL 0774-65-7370



■ 京田辺市女性安全マップ

昨今、女子学生の下宿先に侵入する犯罪トラブルが増えています！！
同志社大学では京田辺キャンパス近辺の安全マップを配布しています。
ご家庭におかれましても、お子様方により一層の注意喚起をお願いいたします。

Kyotanabe City Safety Map for Women

京田辺市女性安全マップ

不審者を見かけたら
迷わず110番通報！



■ 学部学年歴

秋学期

2010年

9月21日(火)	秋学期始め
22日(水)	
24日(金)	履修科目登録変更
25日(土)	講義開始
10月11日(月)	体育の日(授業日)
29日(金)	秋学期学費納入最終日
30日(土)	同志社京田辺祭 ※1
31日(日)	(スポーツフェスティバル)
11月26日(金)	創立記念行事週間(休講)
~ 28日(日)	
29日(月)	創立記念日(休日)
12月25日(土)	キリスト降誕日(休日)
28日(火)	冬期休暇開始

2011年

1月5日(水)	冬期休暇終了
6日(木)	講義再開
23日(日)	創立者永眠の日
26日(水)	講義最終日
27日(木)	期末試験開始
2月16日(水)	期末試験終了
3月上旬	卒業可否発表
3月20日(日)	秋学期卒業式・学位授与式
~ 22日(火)	
24日(木)	在学生成績通知書配付 ※2
31日(木)	秋学期終わり

※1) 10月30日(土)は、平常どおり授業を実施します。

※2) 成績通知書配付日以降、翌年度、4月の履修科目登録期間までに、先行登録期間が設定されます。

2011年度心理学部父母会行事

●新入生父母交流会(入学式)

日 時:2011年4月1日(金)13:30～14:30(予定)
場 所:京田辺キャンパス

●総会

新役員・決算・予算・事業計画などをご審議ご承認いただく年1回の総会となりますので、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

(※詳細は、4月ごろ送付します。)

日 時:2011年5月14日(日)11:00～14:00(予定)
場 所:京田辺キャンパス

心理学部ホームページを
ご活用ください！
詳しい情報を随時発信
しています。



同志社大学心理学部

検索

<http://psych.doshisha.ac.jp/index.html>



●重要なお知らせ

「心理学部父母会」・「在学生の方へフォトアルバム」ページは、ログイン時にパスワードが必要です。各パスワードは父母会報春号にてお知らせしています。

(ご不明な場合は、お問い合わせください。)

ご父母のさまざまなご意見ご感想などお待ちしております。
下記までご一報ください。

同志社大学 心理学部父母会会報 第3号

平成22年12月6日

編集・発行/同志社大学心理学部父母会

〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷1-3

TEL: 0774-65-8220 FAX: 0774-65-8223

E-mail: snr-fubo@mail.doshisha.ac.jp

印刷/株式会社 石田大成社

(名称)

第1条 本会は、同志社大学心理学部父母会と称する。

(目的)

第2条 本会は、同志社大学心理学部(以下「学部」という。)の教育方針に則り、教員と学部在籍する学生の父母又はこれに準ずる者(以下「学生の父母」という。)との連絡を密にし、学生の就学を支援するとともに、学部の教育研究事業を援助し、学部の充実発展に寄与することを目的とする。

(会員)

第3条 本会は、次の会員をもって組織する。

- (1) 父母会員 学生の父母
- (2) 参与会員 学部所属する専任教職員 若干名
- (3) 賛助会員 本会の趣旨に賛同し、これに援助を与える者

(事業)

第4条 本会は、その目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 学部と学生の父母との連絡を図る行事
- (2) 学生の教育、厚生、就職等に必要事業に対する援助
- (3) 学部の教育研究上、必要な施設の拡充及び学術研究に対する援助
- (4) 会報の発行及び配付
- (5) その他本会の目的を達成するために必要と認められた事業

(総会)

第5条 本会に総会を置く。総会は定期総会と臨時総会とする。

- 2 定期総会は毎年1回開催し、臨時総会は役員会の議を経て臨時に開催する。
- 3 総会は全会員をもって構成し、会長が議長となる。
- 4 総会の議事は、出席者の過半数をもって決定する。
- 5 定期総会は、次の事項を決定する。
 - (1) 役員を選出
 - (2) 会則の改正
 - (3) 事業計画、予算及び決算
 - (4) その他重要事項

(役員及び役員会)

第6条 本会は、事業推進と企画立案のため次の役員を置き、その役員をもって役員会を構成する。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 2名
- (3) 会計 1名
- (4) 委員 若干名
- (5) 監事 1名

第7条 役員は、次の方法によって選任する。

- (1) 父母会員の中から選出する。
- (2) 役員は、役員会の推挙により、定期総会に諮って決定する。

第8条 役員は、次の職務を行う。

- (1) 会長は、会務を統括し、本会を代表する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。
- (3) 会計は、本会の会計を管理する。
- (4) 監事は、本会の会務及び会計を監査する。

第9条 役員の任期は1年とする。ただし、重任を妨げない。

第10条 役員会は、必要に応じ適宜開催し、次の事項を審議し、本会の事業を実施する。

- (1) 役員会の推挙
- (2) 会則改正案の作成
- (3) 事業計画案、予算案及び決算案の作成
- (4) その他会務の運営、執行に関する事項

第11条 役員会は、緊急を要する案件は、総会に代り、審議、決定することができる。ただし、役員会で決定した事項は、総会において報告しなければならない。

第12条 役員会は、必要に応じて、この会則の施行に伴う細則、規程を定めることができる。

(運営資金)

第13条 本会の運営は、父母会員費、寄付金及びその他の収入による。

(父母会員費)

第14条 父母会員費は、学期額3,000円とする。ただし、学生が休学する場合は、父母会員費を免除する。
2 父母会員費は、毎学期の始めに納入しなければならない。
3 父母会員費の徴収は、大学に委託して行う。

(会計年度)

第15条 本会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(事務局及び職員)

第16条 本会の事務局を心理学部事務室内に設ける。

- 2 本会は、本会の庶務会計等の業務を処理するため、職員を置く。

附 則

この会則は、2009年7月18日から施行する。